



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月26日

上場会社名 株式会社メルコホールディングス
コード番号 6676 URL <http://melco-hd.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧 寛之
問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 竹藤 晴之

TEL 052-251-6891

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年11月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	35,348	1.3	2,618	1.9	3,234	2.2	2,623	7.5
29年3月期第2四半期	35,822	8.0	2,570	39.0	3,306	44.2	2,441	55.8

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,978百万円 (26.2%) 29年3月期第2四半期 2,359百万円 (59.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	143.40	
29年3月期第2四半期	125.00	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	62,840	44,322	70.5	2,445.01
29年3月期	67,181	43,356	64.5	2,330.12

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 44,322百万円 29年3月期 43,356百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		20.00		25.00	45.00
30年3月期		25.00			
30年3月期(予想)					

(注) 現時点では平成30年3月期末の配当予想額は未定です。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

混迷する世界情勢を背景とした予測不可能な為替相場や半導体などの部材調達の先行き不透明感など、現時点では業績に影響を与える未確定要素が多いため、連結業績予想を示すことが困難な状況です。合理的に予測可能となった時点で公表いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
以外の会計方針の変更：無
会計上の見積りの変更：無
修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	22,237,873 株	29年3月期	22,237,873 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	4,110,153 株	29年3月期	3,630,890 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	18,297,167 株	29年3月期2Q	19,530,890 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な雇用・所得情勢を受け緩やかな回復基調が見られたものの、近隣国との政治的緊張の高まりなどから景気の先行きについては不確実性の高い状態が続きました。また欧米経済は、政治・経済の不透明感を抱えつつも、堅調な景気回復が持続しました。

当社グループに関係するデジタル家電業界は、スマートフォン市場において格安モデルの増加を背景に堅調に推移しました。また、タブレット市場も個人向けを中心に伸長しました。その一方で、薄型テレビ市場及びパソコン市場は需要が伸び悩み低迷しました。

こうした状況下で当社グループは、売上伸長に頼らずとも利益を生み出せる経営を推し進めました。国内個人向け市場においては収益力強化を図り、法人市場では引き続き文教及び観光関係に強いパートナー様との関係強化に努めました。さらに、賃貸集合住宅向けWi-Fi※インターネットサービス「アパートWi-Fi」の導入数拡大やハードディスクなどからデータを復旧する「バッファロー正規データ復旧サービス」の受注数拡大に努めました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高353億48百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益26億18百万円（同1.9%増）、経常利益32億34百万円（同2.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益26億23百万円（同7.5%増）となりました。

周辺機器事業

周辺機器事業では、国内個人向け市場において市場内のポジションは堅持したものの、販売価格の適正化を推進したことで、周辺機器全体で販売台数が前年同期に比べ2割以上減少しました。その一方で、ロスコスト削減などの効果により収益性は向上しました。また、法人向け市場においてパートナー様との関係強化に注力した結果、前年同期に比べ売上が伸長しました。さらに「アパートWi-Fi」は累計導入数が約1,500棟（約2.4万戸）に迫り、「バッファロー正規データ復旧サービス」においてはサービスを開始してから約半年で2千件を超える受注を獲得するなど多くの反響をいただきました。

その結果、売上高345億81百万円（前年同期比1.5%減）、セグメント利益21億78百万円（同4.1%増）となりました。

金融事業

金融事業では、良好な市況を背景に堅調に推移し、売上高7億67百万円（前年同期比7.7%増）、セグメント利益4億37百万円（同4.9%増）となりました。

※：Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は628億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億40百万円減少しました。流動資産は542億45百万円となり、44億66百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少28億25百万円、受取手形及び売掛金の減少7億71百万円、商品及び製品の減少9億10百万円、原材料及び貯蔵品の増加85百万円によるものです。固定資産は85億95百万円となり、1億26百万円増加しました。これは主に、無形固定資産の減少2億19百万円、投資有価証券の増加3億39百万円によるものです。

負債合計は185億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億6百万円減少しました。流動負債は160億65百万円となり、52億47百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少40億19百万円、未払法人税等の減少5億53百万円、未払金の減少3億18百万円によるものです。固定負債は24億53百万円となり、59百万円減少しました。

純資産合計は443億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億65百万円増加しました。これは主に自己株式の取得15億46百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益26億23百万円の獲得、配当金の支払額4億65百万円、その他有価証券評価差額金の増加2億21百万円、繰延ヘッジ損益の増加1億8百万円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は17億69百万円となりました。キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は6億5百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益32億31百万円、たな卸資産の減少による資金増加8億29百万円、売上債権の減少による資金増加7億92百万円、仕入債務の減少による資金減少41億73百万円、法人税等の支払額16億74百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は1億59百万円となりました。これは主に、有価証券及び投資有価証券の取得による支出330億円、有形・無形固定資産の取得による支出1億37百万円、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入330億円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は20億66百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出15億46百万円、配当金の支払額4億65百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

混迷する世界情勢を背景とした予測不可能な為替相場や半導体などの部材調達の高騰による先行き不透明感など、現時点では業績に影響を与える未確定要素が多いため、連結業績予想を示すことが困難な状況です。合理的に予測可能となった時点で公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,595	1,769
受取手形及び売掛金	10,298	9,526
有価証券	33,000	33,085
商品及び製品	6,967	6,056
原材料及び貯蔵品	2,748	2,833
繰延税金資産	405	274
その他	700	701
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	58,712	54,245
固定資産		
有形固定資産	871	881
無形固定資産	1,271	1,052
投資その他の資産		
投資有価証券	5,901	6,241
その他	427	423
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	6,325	6,661
固定資産合計	8,468	8,595
資産合計	67,181	62,840
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,583	9,563
電子記録債務	580	451
1年内返済予定の長期借入金	13	—
未払法人税等	1,227	673
未払金	2,001	1,683
前受収益	2,340	2,347
役員賞与引当金	13	6
製品保証引当金	78	81
その他	1,473	1,256
流動負債合計	21,312	16,065
固定負債		
長期借入金	41	—
繰延税金負債	1,161	1,266
退職給付に係る負債	460	371
役員退職慰労引当金	621	628
リサイクル費用引当金	149	149
その他	77	37
固定負債合計	2,512	2,453
負債合計	23,824	18,518

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	902	902
利益剰余金	49,595	51,754
自己株式	△8,184	△9,731
株主資本合計	43,312	43,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	245	467
繰延ヘッジ損益	△26	81
為替換算調整勘定	△92	△77
退職給付に係る調整累計額	△83	△74
その他の包括利益累計額合計	43	397
純資産合計	43,356	44,322
負債純資産合計	67,181	62,840

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	35,822	35,348
売上原価	27,021	26,070
売上総利益	8,801	9,278
販売費及び一般管理費	6,230	6,659
営業利益	2,570	2,618
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	433	431
為替差益	12	—
持分法による投資利益	288	189
その他	21	11
営業外収益合計	755	633
営業外費用		
支払利息	—	0
減価償却費	13	0
為替差損	—	0
支払手数料	2	2
その他	4	12
営業外費用合計	20	16
経常利益	3,306	3,234
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	9	0
関係会社株式売却損	—	4
特別損失合計	9	4
税金等調整前四半期純利益	3,296	3,231
法人税、住民税及び事業税	902	499
法人税等調整額	△47	108
法人税等合計	855	607
四半期純利益	2,441	2,623
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,441	2,623

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	2,441	2,623
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40	211
繰延ヘッジ損益	12	108
為替換算調整勘定	△31	16
退職給付に係る調整額	△6	8
持分法適用会社に対する持分相当額	△16	8
その他の包括利益合計	△82	354
四半期包括利益	2,359	2,978
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,359	2,978

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,296	3,231
減価償却費	320	286
受取利息及び受取配当金	△433	△432
持分法による投資損益(△は益)	△288	△189
支払利息	—	0
売上債権の増減額(△は増加)	650	792
たな卸資産の増減額(△は増加)	△355	829
仕入債務の増減額(△は減少)	1,523	△4,173
未払金の増減額(△は減少)	△508	△309
その他	△41	228
小計	4,164	264
利息及び配当金の受取額	504	503
利息の支払額	—	△0
法人税等の支払額	△664	△1,674
法人税等の還付額	364	301
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,368	△605
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△207	△106
有形固定資産の売却による収入	0	1
無形固定資産の取得による支出	△46	△30
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△33,000	△33,000
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	36,000	33,000
関係会社株式の取得による支出	△2,498	—
その他	△7	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	239	△159
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△54
自己株式の取得による支出	△3,066	△1,546
配当金の支払額	△407	△465
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,474	△2,066
現金及び現金同等物に係る換算差額	△92	5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,041	△2,825
現金及び現金同等物の期首残高	4,664	4,595
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,706	1,769

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年7月25日開催の取締役会決議に基づき、当第2四半期連結累計期間において自己株式467,800株の取得を行いました。なお、平成29年7月25日をもって取得を終了しております。

また、平成29年7月26日開催の取締役会決議に基づき、当第2四半期連結累計期間において自己株式11,300株の取得を行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が1,546百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式の額が9,731百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	周辺機器	金融	計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,109	712	35,822	0	35,822
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	1,506	1,506
計	35,109	712	35,822	1,506	37,329
セグメント損益	2,093	417	2,510	865	3,375

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の全社管理機能を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,510
「その他」の区分の利益	865
セグメント間取引消去	△805
四半期連結損益計算書の営業利益	2,570

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	周辺機器	金融	計		
売上高					
外部顧客への売上高	34,581	767	35,348	0	35,348
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	1,289	1,289
計	34,581	767	35,348	1,290	36,638
セグメント損益	2,178	437	2,616	583	3,199

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の全社管理機能を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,616
「その他」の区分の利益	583
セグメント間取引消去	△581
四半期連結損益計算書の営業利益	2,618

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを、従来の「周辺機器事業」「サービス事業」「金融事業」の3つのセグメントから事業区分を見直し、「周辺機器事業」「金融事業」の2つのセグメントに変更しております。これは、お客様に喜んでいただける周辺機器を提供するには製品とサービスの統合は不可欠であるとの判断などによるものです。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成したものを開示しております。